

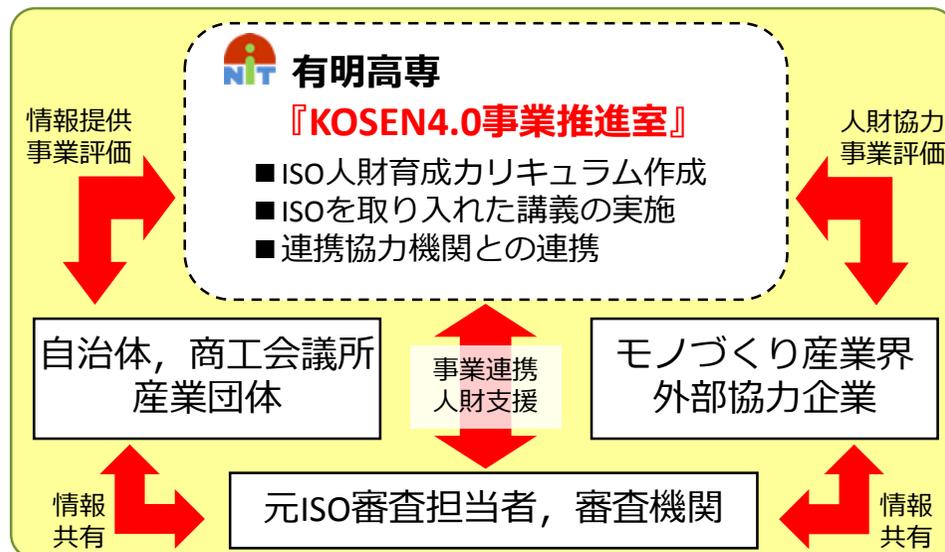
PDCAを活用した国際規格ISOマネジメント対応人財の育成

【取組の目的，内容】

現代のものづくり産業界では、**国際規格ISO9001（品質）**や**ISO14001（環境）**等のマネジメントシステムに対応できる「**国際規格ISOマネジメント対応人財**」が求められている。**国内の高専では教育実績が少ない**「ISO」の知識を有し、ISOの対応原則である**PDCA**を現場で実践できる「ISOマネジメント」の戦力となる人財を育成する。

●主テーマとする主なISOマネジメント規格 ①ISO9001 ②ISO14001 ③ISO27001 ④ISO9001-HACCPおよびISO22000

【実施体制】



【工程表】

	平成30年 7月～9月	平成30年 10月～12月	平成31年 1月～3月	平成31年 4月以降
[1] 事業企画・準備	◆実施体制作り ◆教育カリキュラム検討・作成		◆評価体制確認 ◆全決定	
[2] 事業実施・評価	◆実施可能科目での一部先行実施 ◆先行実施内容での評価（参考値）			◆取組み実施 ◆評価実施
[3] 実施体制整備	◆学内体制作り ◆ISO機関連携	◆ものづくり産業界，他機関と連携 ◆高専OBOG機関との連携		◆学内教職員連携 ◆全協力機関連携

【成果指標】

■ 受講学生への調査によるISO9001, ISO14001に関する内容理解者率	0% (H30年度当初)	→ 100% (H30年度末)
■ ISO取得企業でのインターンシップ参加割合	71% (H29年度)	→ 80% (H30年度末)
■ 「ISO」を講義内容に取り入れた講義数	2件 (H29年度)	→ 4件 (H30年度末)

【第4期中期目標期間への展開】

- ① 「**情報セキュリティ**」「**食品安全**」に関するISO教育プログラムを作成し、国際競争に対応できる「**ISOマネジメント教育**」を実現する。
- ② 「**創造工学科**」による教育編成を活かし、広い分野に及ぶ幅広い知識を有する「**ISOマネジメント**」人財をものづくり産業界に輩出する。